

CEFUCOM-21 SERIES

コンピューター学習機

使用説明書



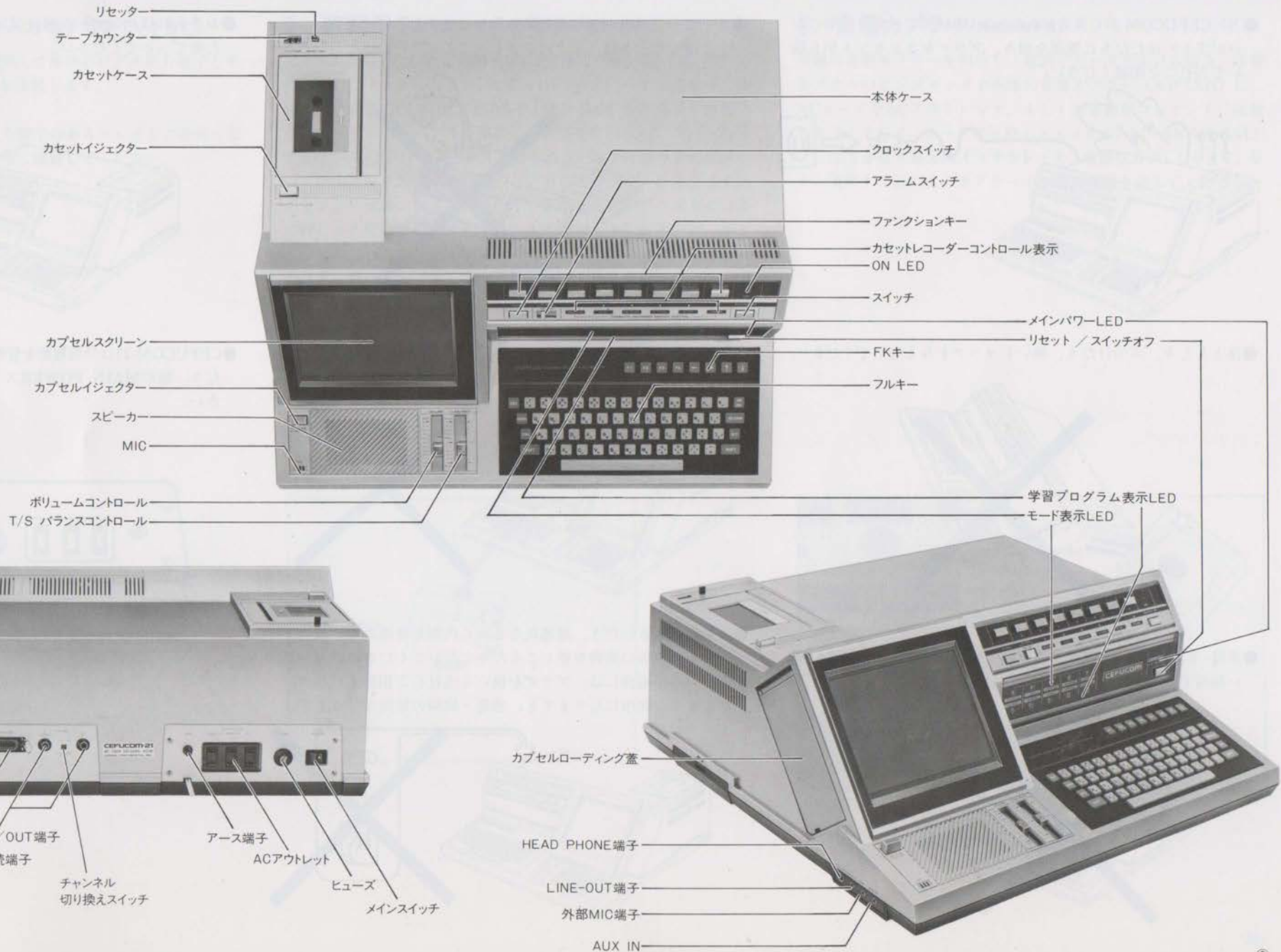
このたびは、CEFUCOM-21 SERIES 学習教材をお求めいただき、誠にありがとうございました。これは、今話題のコンピューター機能を駆使したCAI (COMPUTER ASSISTED INSTRUCTION) 方式であると同時に、従来のテキストを自動的にコンピューターが操作する、他に類のない本教材特有のカプセル式オート・テキストになっています。CEFUCOM-21は多目的機器で5つのモ

ードをそなえており、CAI 学習用のみならず、時間管理(アラーム)、パーソナル・コンピューター、テープレコーダー、データ通信にも活用できます。コンピューター・モードでは“BASIC”で、初心者からマニアまで幅広く利用することもできます。詳しくは、この使用説明書をお読みいただき、長くご愛用下さいますようお願い申し上げます。



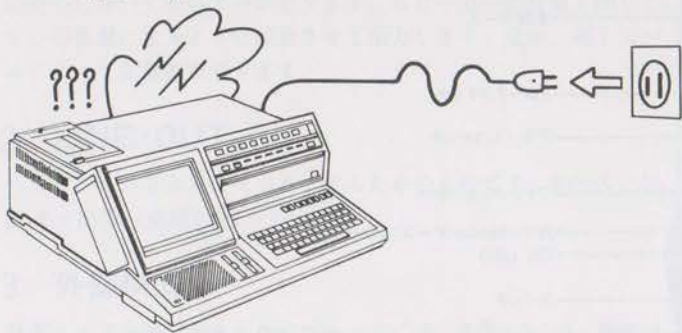
各部の名称	2
使用上のご注意	3
システムの構成	4
接続端子の種類と機能	5
システム機器の接続	6
各部の機能	8
内部機構	10
機器の操作	11
アプリケーションモード	12
MODE 1の操作	13
MODE 2の操作	15
MODE 3の操作・MODE 4の操作	17
仕様	18

各部の名称

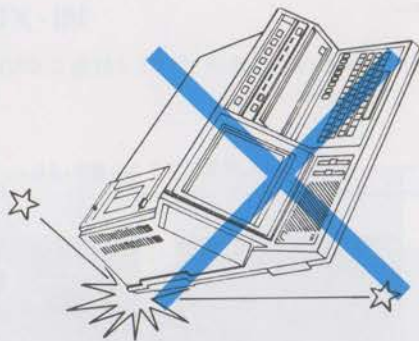


使用上のご注意

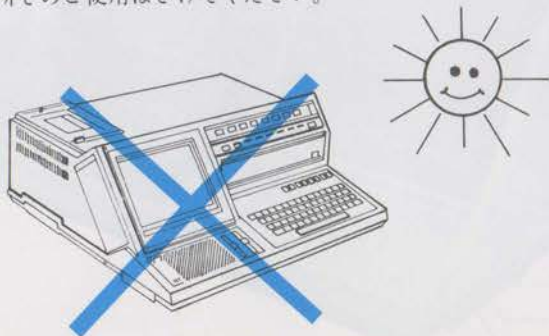
- 万一CEFUCOM-21に異常があるとき(煙が出る・変な音やにおいがする)はただちに電源を切り、プラグをコンセントから抜いて当社にご相談ください。



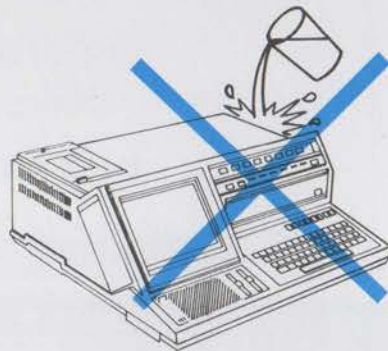
- 落としたり、ぶついたり、強いショックを与えないでください。



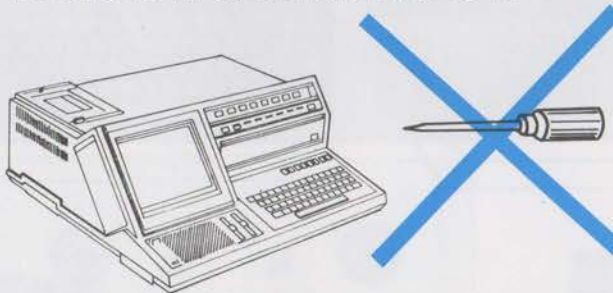
- 高温・多湿の場合、直射日光のあたる場所、あるいはホコリの多い場所での使用はさけてください。



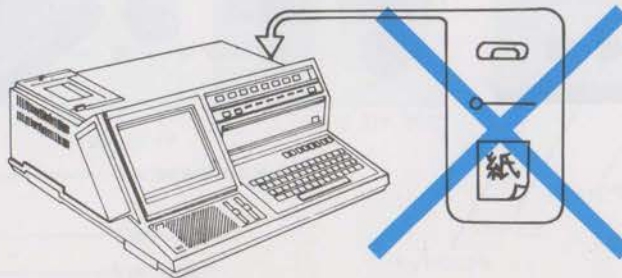
- コーヒーやジュースなどの飲み物をこぼさないでください。万一こぼしたときは、すぐにふきとってください。



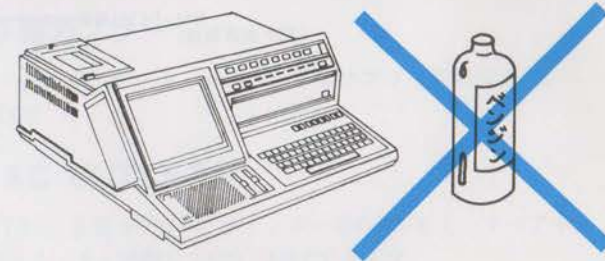
- ケースは絶対にあけないでください。内部には感電の危険のある個所があります。また故障の原因にもなります。



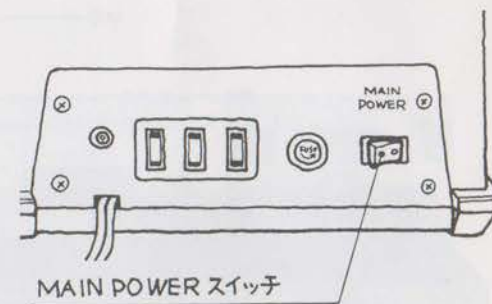
- 通風孔をふさいだり、通風孔などから内部に金属あるいは燃えやすいもの等の異物を差しこんだりしないでください。万一異物が入った場合には、プラグを抜いて当社にご相談ください。そのままご使用になりますと、感電・故障の原因となります。



- お手入れはシンナー、ペンジンなどの薬品の使用はさけ、乾いた布でふいてください。



- CEFUCOM-21は学習履歴を管理しているので、ACコードを抜いたり、後のMAIN POWERスイッチを切らないようにしてください。

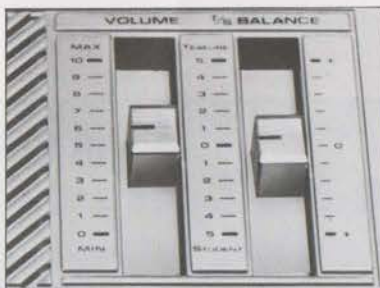


システムの構成

システムの特長

■個別学習機CEFUCOM-21の特長

- ①スタディ・タイム・スケジュール、CAIがくしゅう、コンピューター、テープレコーダー、インフォメーションの5モードをもつ多機能・多目的機器です。
- ②CAI機器の備えるべき条件をすべて満している個別学習管理機能をもったマイコン学習機です。
- ③コンピューターとの対話型学習機です。
- ④TAPEによる音声、CRT(ブラウン管)による文字とカセット式オートテキストによる学習機です。
- ⑤コンピューターによるT/S(先生と生徒)機能をもっています。これはCAIでLL学習しているとき、先生と生徒の声の大きさを変えるためのものです。



システムの構成

(1)CEFUCOM-21本体

CEFUCOM-21には、特殊印刷をロール状に収納したカプセル式オートテキスト機能、テープレコーダー及びその増巾、制御回路等が含まれています。テープレコーダーには2トラックあり、片方のトラックは音声が入っており、もう一方のトラックにはデジタル信号が入っています。このデジタル信号により、CRTの画面情報、学習の制御、ロールの表示等が行われます。

(2)音響カプラー(将来実施予定)

相手(DEMOS-Eセンター)に電話し、回線がつながったら受話器を音響カプラーに設置すると、電話回線を通じて信号を受けることができます。この信号は本体を通じてCRTに、文字情報として表示されます。また、プログラムの伝送も行います。

(3)CRT(ブラウン管)

CRTとして家庭用のカラーテレビ、カラーモニターテレビ(コンポジット方式)、もしくはグリーンモニターテレビが使用できます。学習用の情報をテープレコーダーより読み取りCRTの画面上に表示することができます。また、音響カプラーからの情報を表示することもできます。

接続端子の種類と機能

1. HEAD PHONES

モノ出力用6.34mm径のもので、CAI、CPU、TAPEのPLAY/RECの全てにおいてモニターができます。スピーカーの音量と同じくらいの音量になるように減衰させて出力します。なお、ボリュームによって音量調整できます。

2. LINE-OUT

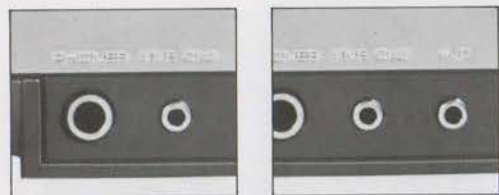
ヘッドフォンを含み、モニターするためのものです。500mV/10khモノ出力（直径3.5ミリ）

3. 外部MIC

外部マイクを使用するときのジャックです。直径3.5ミリ。機能はBUILT-IN MICと同じです。

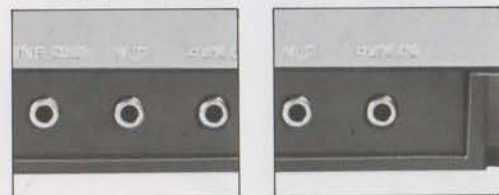
4. AUX-IN

500mV/100kΩ 直径3.5ミリ。外部からの信号を録音するためのジャックです。



① HEAD PHONES

② LINE-OUT



③ 外部 MIC

④ AUX-IN

5. TV-OUT/VIDEO

モニター用TVに出力するビデオ出力端子です。RCAタイプ。

6. TV-OUT/RF

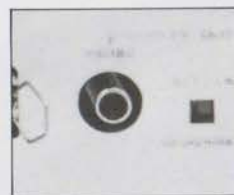
ビデオ出力でRFを変調した出力です。RCAタイプ。

7. チャンネル切り換えスイッチ

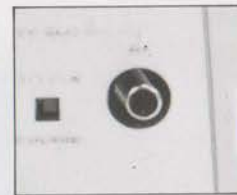
スイッチを押さないと1チャンネル、押すと2チャンネルに切り換わります。

8. JOY STICK

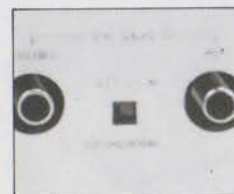
ジョイスティック（ゲーム用）の接続端子が2個あります。9P コネクター。



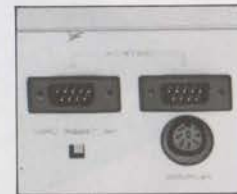
⑤ TV-OUT/VIDEO



⑥ TV-OUT/RF



⑦ チャンネル
切り換えスイッチ



⑧ JOY STIC

9. PRINTER

テレビ画面に出た内容をプリントアウトするプリンター（オプション）の接続端子です。14PIN コネクター。

10. 音響カプラー（将来実施予定）

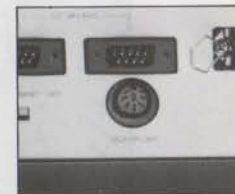
CCIコンタック・データ・システム音響カプラー接続用です。8P DIN。

11. AC OUTLETS

CRT(TV)、音響カプラー、プリンター用の3つあり、すべて本体の電源スイッチと連動してON/OFFできます。



⑨ PRINTER



⑩ 音響カプラー



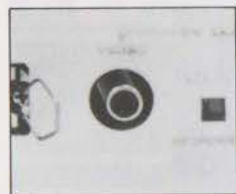
⑪ AC OUTLETS

システム機器の接続

1. CRTモニター(ビデオ入力端子付きTVを含む)

付属のモニターTVケーブルを使用して本体のビデオ出力端子とモニターテレビのビデオ入力端子を接続します。

家庭用テレビのうち、ビデオ入力端子のあるテレビをご使用になる場合は、モニターテレビと同様に接続してください。

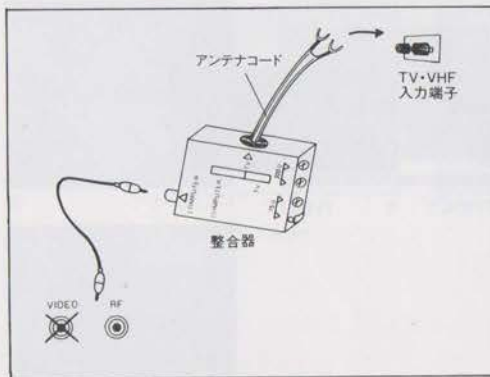


ビデオ出力端子(左側)

2. 家庭用TV(ビデオ入力端子のないもの)

ビデオ入力端子のない家庭用テレビをご使用になる場合には、整合器のテレビアンテナコードをテレビのVHF300Ωアンテナ入力端子に接続し、整合器のCOMPUTER端子と本体のRF出力端子を付属のモニターテレビケーブルを使用して接続してください。次に、使用するテレビのVHFのチャンネルを1あるいは2に合わせます。

(ご使用になる地域で放送局のない方のチャンネルを選びます)チャンネル切換えスイッチをチャンネル2でご使用の場合には奥に押しこんだ状態に、チャンネル1でご使用となる場合は、少しとび出した状態に切換えてください。なお、その切換えは鉛筆の先などの細いもので押しただけであればできます。

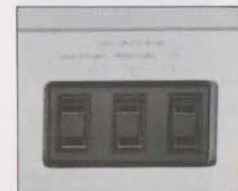


3. 音響カプラー (将来実施予定)

付属の音響カプラーを利用し、電話でデータを受ける場合、音響カプラーのピンジャックを本体の音響カプラー(8P DIN)に、ACコードをACアウトレット、もしくは家庭用コンセントに接続します。そして、モード切り換えスイッチ(CALL・ANS)をCALLに、H-T-F切り換えスイッチをF(全二重通信方式)にします。なお、使用する前に良くカプラーの取扱説明書を読んでください。



音響カプラー(8P DIN)端子



AC OUTLETS



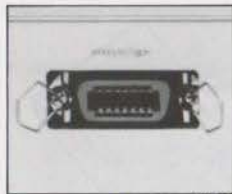
音響カプラー

システム機器の接続

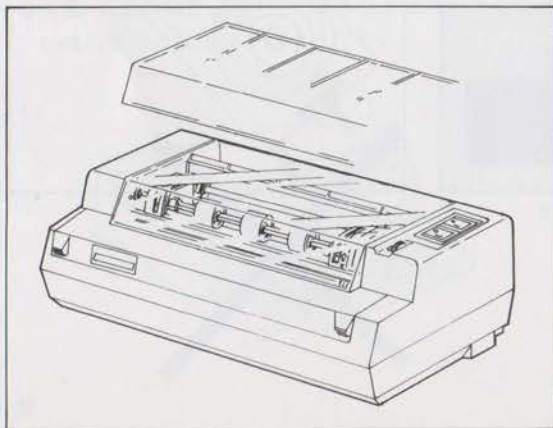
4. プリンター

プリンター（オプション）のケーブルをCEFUCOM-21のプリンター端子に接続して使用します。

注意）プリンターの電源をONにしたまま、本体の電源をON/OFFにすると、プリンターにでたらめな文字が印刷されますので注意してください。



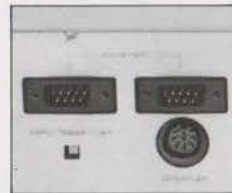
PRINTER端子



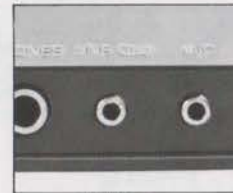
PRINTER

5. その他の接続端子

- a. JOY STICK ジョイスティックは、ジョイスティック端子に接続することができます。使用できるジョイスティックのタイプについては、販売店にご相談ください。
- b. 外部マイクとヘッドフォン 外部MICまたはHEAD PHONESを使用するときは、それぞれの接続端子に挿入してください。



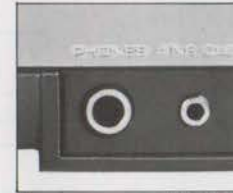
a JOY STICK



b 外部MIC
HEAD PHONES



c AUX-IN



d LINE-OUT

c. AUX-IN 他の機器より直接録音するときは、パッチコードをこの端子に接続してください。

d. LINE OUT 他の機器からCEFUCOM-21のスピーカー音を出したいときは、パッチコードをこの端子に接続してください。

各部の機能

1. 表示器

表示器は、本体にあるLEDと本体と一緒に使用されるCRTがあり、MAIN POWERスイッチを切ると、全ての表示器は消えます。ここでは本体にあるLEDの機能を説明します。

- a. **モードLED** 5つあり、それぞれ選択したモードのLEDが点灯し、モードがひと目でわかるようになっています。
- b. **プログレスLED** CAIがくしゅうモードを使用した場合、1日に学習すべき量をこのプログレスLEDが管理します。例えば、設定されたスケジュール通りに進んでいるか否かプログレスLEDが次のように点灯します。カルテを選ぶ前に点灯しているプログレスLEDは、1番最後に学習した人の学習進度を示しています。
AHEAD：スケジュールより多くの量が学習されていることを表示。
ON：スケジュール通りの量の学習が行われていることを表示。
BEHIND：スケジュールより遅れていることを表示。
CONTINUE：1日でも学習しないと、もっと継続的に努力するようにとの注意表示。



a モードLED



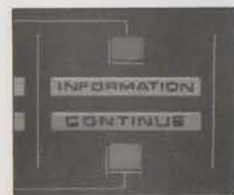
b プログレスLED



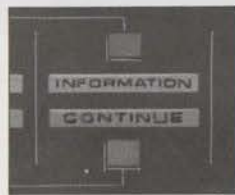
AHEAD



ON



BEHIND



CONTINUE

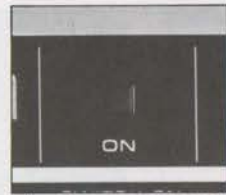
c. **アラームLED** 24時間以内にセットされているアラーム時間のあることを示します。

d. **ON LED** スイッチを入れると点灯します。

e. **MAIN POWER LED** MAIN POWERスイッチを入れた状態でメモリータイマー学習履歴がバックアップされておりますので、いつでもついている事を確認してください。ACコードを抜くと学習履歴の管理ができなくなるので、抜かないようにしてください。



c アラームLED



d ON LED



e MAIN POWER LED

2. キー

- a. **RESET/SW OFF** 日付、時間表示のとき、このキーを押すとSW OFFが作動して、ACアウトレットを含む電源が切れます。各モードからモード選択画面にもどすときに押すと、RESETが作動します。ちょっとさわっても働かないように設計してありますので1秒以上軽く押してください。
- b. **SWITCH ON** このキーを押すと電源が入り、LEDが点灯します。同時にACアウトレットの電源も入ります。
- c. **CLOCK** このキーはCAIがくしゅうモード時のみ作動し、キーを押すとCRT上左すみから月日・曜日・時間が表示されます。ただし、上記のスペースがすでに使用されているときは、そこを消して表示されますので注意してください。
- d. **FUNCTION** キー配列の左から順に1～8のキーがあり、各キーの機能、動作は選択された各モードに応じて変化します。操作しやすくするためCRT上に各キーの機能が明示されます。
- e. **TAPE・CPU** コンピューター・モードとテープレコーダー・モードの場合、テープレコーダーとして使用できます。先の1～8のキー位置に対応して、3-REC、4-PLAY、5-REW、6-FFWD、7-STOP、8-PAUSEとなり、その表示はそれぞれのキーに対応したキーの下側に印刷されています。



a RESET/SW OFF



b ON



c CLOCK



d FUNCTION



e TAPE・CPU

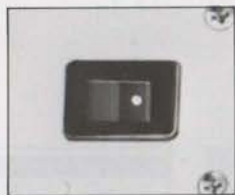
各部の機能

3. スイッチ

- a. **ALARM スイッチ** 4ポジションスイッチで、左から、OFF、1、2、1+2、となっています。OFFの時はアラーム設定時間になってもそのアラームは作動しません。1のときには、アラーム1の設定時間のときに作動します。2のときは、アラーム2のときだけに、1+2は両方の設定時間で作動します。時間がくるとメロディ音が鳴ってCRTがONとなり、日付、時間を表示します。ただし、モードが選定されたらメロディは止まります。モードを選ぶときはRETURNキーを押してください。電源を切るときは、RESET/SW OFFスイッチを押してください。
- b. **MAIN POWERスイッチ** メインの電源スイッチで、OFFの状態では電源が切れます。ONにするとMAIN POWER LEDが点灯します。
- c. **CPU RESETTER** CPU (コンピューター) が何かの原因で誤動作したとき、このスイッチを押すと元にもどります。



a ALARM スイッチ



b. POWER スイッチ



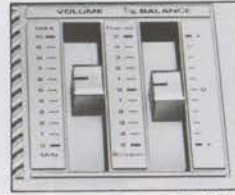
c CPU RESETTER

4. その他

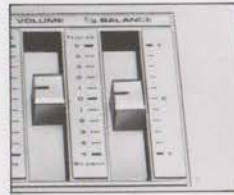
- a. **SPEAKER** スピーカーは1個で、PLAYの時に作動します。RECの時はマイクロフォンが作動しているため、ハウリング防止のために作動しません。
- b. **VOLUME** ボリュームは、全てのモードでスピーカーの音量を調節するためのものです。ただし、CAI、TAPEモードでマイクロフォンを使用していると、スピーカー音によるハウリングが発生するので、スピーカーから音が出ないようにしてありますから、ヘッドフォンを使用してください。CPUモードではC-LOADをしているときのモニターの音量とシンセサイザーの音量を調整できます。不必要のときはボリュームをしばらくおいてください。ヘッドフォンのモニター出力は、モードに関係なく、このボリュームで調整できます。
- c. **T/S BALANCE** CAIがくしゅうモードのときにのみ作動します。上側は先生の声が、下側は生徒の声が大きくなります。
- d. **MIC** 本機にはビルトインマイク、外部マイク端子、AUX端子があり、CAIがくしゅう、TAPEモードで、録音のときのみ作動します。優先順位は、AUX、外部MIC、BUILT-IN MICとなります。



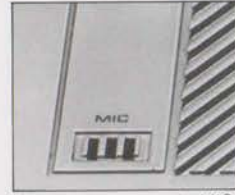
a SPEAKER



b VOLUME



c T/S BALANCE



d MIC

e. **CAPSULE EJECTOR** カプセルを取り出すときに押してください。ただしCAIがくしゅう中は押せませんから、その場合は、RESETキーを押した後にしてください。

f. **CASSETTE EJECTOR** テープを止め、カセットを取り出すときのみ使用します。

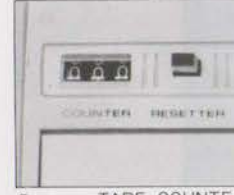
g. **TAPE COUNTER** カセットテープの録音/再生時に、その量がひと目でわかるようになっています。リセッターを押すとカウンターは000にもどります。



e CAPSULE EJECTOR



f CASSETTE EJECTOR



g TAPE COUNTER

c) 学習者の名前を登録または変更するときは：

③ RETURN を押すと、カーソルが学習者のところにでます(c)。フルキーを使って、カタカナでもローマ字でも20文字まで登録できます。一度入力した名前を訂正するときは、カーソルを訂正する所へ移動して正しい文字を入れてください。RETURN キーを押すと、登録または変更が完了します。その他の空白部分は、コンピューターが管理するので入力する必要はありません。

d) 学習履歴を取り消すときは：

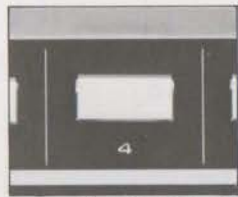
コースを全部修了した科目や、その他やむをえない理由により削除したいカルテがある場合は、④ RETURN を押すと、CAI がくしゅう画面(a)にもどり、学習科目、学習者名等の学習履歴が取り消されそのカルテは空きます。



ファンクションキー ③



リターンキー



ファンクションキー ④

教材エラーメッセージ

CAI 学習に移ったとき、アラーム音と共に、図のような教材エラーメッセージが現れましたら、これは次のような場合ですから、メッセージに従って正しく直してください。ファンクションキー ⑦ を押すと再び始められ、⑧ を押すと学習を止めることができ、画面はモード・セレクションになります。

(1)「カプセルが、はいっていません」のとき

- a) 学習履歴のない場合は、希望するカプセルを入れてください。
- b) 学習履歴のある場合は、画面に示された学習者、その人の科目、カプセル番号の教材を入れてください。また教材がしっかり装着されてないか、ふたがしっかり閉ってないときにも現われます。カプセルは充分押ししてカチンという音が聞えたらロックされたこととなります。又、カバーもしっかりロックされているかを確認してから始めてください。

(2)「テープが、はいっていません」のとき

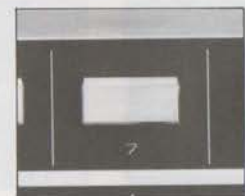
上記a)とb)に準じて、正しいテープを入れてください。



きょうざい・エラー・メッセージ画面 1



きょうざい・エラー・メッセージ画面 2



ファンクションキー ⑦



ファンクションキー ⑧

(3)「カプセルをいれてください」のとき

間違ったカプセルが入ったときに出来ます。画面に示されたカプセルを正しく入れ直してください。

(4)「テープをいれてください」のとき

間違ったテープが入ったときに出来ます。画面に示されたテープを正しく入れ直してください。



きょうざい・エラー・メッセージ画面 3



きょうざい・エラー・メッセージ画面 4



きょうざい・エラー・メッセージ画面 5



きょうざい・エラー・メッセージ画面 6

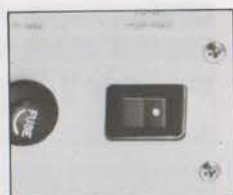
機器の操作

ア. POWER-ON~POWER-OFF

●POWER-ONの方法 本体のうしろのメインパワースイッチがONであることを確認してください。手で電源を入れるにはSWITCH ONのスイッチを押すと入ります。また、あらかじめセットされた週間学習プログラムによって、その日時がくると自動的に電源が入ります。週間学習プログラムは1日につきアラーム・1とアラーム・2の2つが設定できます。電源が入ると同時にアラームが鳴り始めます。アラーム・1でのアラーム音は15秒間続き、45秒のポーズをおいて、これをくり返すパターンになっています。アラーム・2では45秒鳴り、15秒ポーズするパターンです。このアラームは学習がされない場合5分間続き、自動的に電源が切れます。アラームが鳴り始めてから5分以内に学習がされると、アラームは止まります。

●POWER-OFFの方法 週間学習プログラムによって、自動的にPOWER-ONされたものが5分過ぎても学習されなかった場合、自動的に電源が切れます。

学習者が意図的に電源を切れるのは、時刻表示画面(a)が出ているとき、RESET/SW OFFスイッチを使って電源を切る場合と



MAIN POWER スイッチ



SWITCH ON スイッチ



ファンクションキー[F6]



リターンキー

モード・セレクション画面(b)の時、[6]RETURN を押した場合のみです。

尚、すべてのモードで、途中で電源を切りたい場合は、RESET/SW OFFを押してモード・セレクションの画面にもどし、ファンクションキー[F6]とRETURNを押してください。

イ. 日付・時刻の表示

POWER-ONされると、CRT画面に図(a)のような日付・時刻が表示されます。この日付・時刻は、内蔵バッテリーによるタイマーで制御されるもので、電源が切れても最低1カ月間は作動します。なんらかの事故で、日付・時刻がくるった場合、お買上げの時、日付・時刻が異常な表示をしている場合、次の画面のスタディ・タイム・スケジュールのモードで修正します。

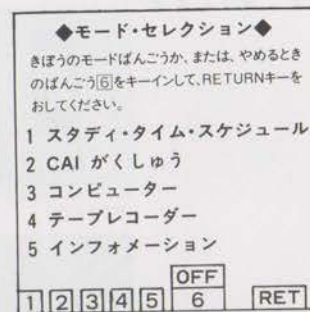
ウ. モードの選択

日付と時刻を確認したら、RETURNキーを押します。画面がモード・セレクション(b)に変わり、何の目的でCEFUCOM-21を使うかの選択をします。

この画面で使いたいモードの番号のファンクションキーを押して、RETURNキーを押すと選択されたモードの画面に変わります。



a 日付・時刻表示



b モードセレクション画面



リターンキー

アプリケーション・モード

1. スタディ・タイム・スケジュール・モード

1週間にわたって1日に2回、別々の時間にアラーム信号で自動的に本機を起動状態にします。

2. CAIがくしゅう・モード

コンピューター制御による学習を行います。

3. コンピューター・モード

BASICにより作動を行います。このとき内蔵のTAPE RECORDERよりプログラムをロードでき、さらにセーブできるもので、外部のテープレコーダーは必要ありません。なお、ゲーム等に使用する場合、ジョイスティックが接続できます。

4. テープレコーダー・モード

内蔵のテープレコーダーは、モノラルのテープレコーダーとして通常の録音用に使えます。なお、このときCRTとも併用できます。

5. インフォメーション・モード (将来実施予定)

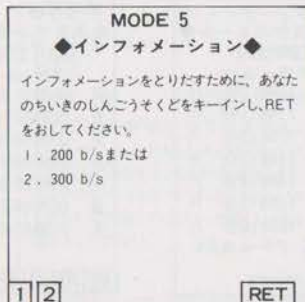
音響カプラーを経由してセンターより送られた情報を、CRTまたはプリンターに表示。プログラムも受信可能です。



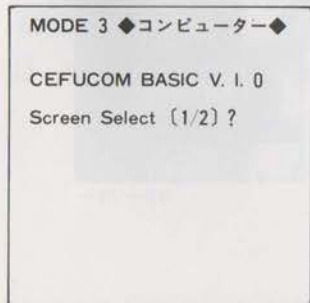
1. スタディ・タイム・スケジュール・モード



2. CAIがくしゅう



5. インフォメーション・モード



3. コンピューター・モード



4. テープレコーダー・モード

MODE 1 の操作

MODE 1

スタディ・タイム・スケジュール・モード

モード・セレクション画面(a)の時、ファンクションキー $\boxed{1}$ とRETURNキーを押すとこのスタディ・タイム・スケジュール・モード(b)に変わります。(RESETキーを押すとモード・セレクション画面にもどります)

〔月日・曜日・時間の訂正手順〕 この時計は24時間表示です。まずファンクションキーの $\boxed{2}$ を押します。すると点滅カーソルが画面上部の日付のところにあらわれます(c)。カーソルキー(\leftarrow \rightarrow)でカーソルを移動させながら、訂正する文字をフルキーを使って入力します。曜日は下側の日~土に対応するファンクションキーを押して訂正してください。訂正を確認したらRETURNキーを押すと、訂正が終了してもとの画面にもどります(b)。“にゅうりよくにまちがいがあります。なおしてください。”と表示されたとき(d)は実存しない時間の数字または文字を誤って入れたときですのでやりなおしてください。

◆モード・セレクション◆
きぼうのモードばんごうか、または、やめるときのはんごう $\boxed{6}$ をキーインして、RETURNキーをおしてください

1 スタディ・タイム・スケジュール
2 CAI がくしゅう
3 コンピューター
4 テープレコーダー
5 インフォメーション

OFF
 $\boxed{1}$ $\boxed{2}$ $\boxed{3}$ $\boxed{4}$ $\boxed{5}$ $\boxed{6}$ RET

a モードセレクション画面



ファンクションキー $\boxed{1}$

MODE 1
◆スタディ・タイム・スケジュール◆
10月22日〔木〕08時05分
アラーム・1 アラーム・2

日	01時01分	R	10時10分	R
月	02時02分	R	11時11分	R
火	03時03分	R	12時12分	R
水	04時04分	R	13時13分	R
木	05時05分	R	14時14分	R
金	06時06分	R	15時15分	R
土	07時07分	R	16時16分	R

へんごうのとき、日時は $\boxed{2}$ アラームは $\boxed{4}$ をおしてください

$\boxed{2}$ $\boxed{4}$

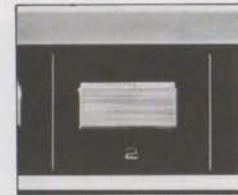
b スタディ・タイム・スケジュール・モード

MODE 1
◆スタディ・タイム・スケジュール◆
10月22日〔木〕08時05分
アラーム・1 アラーム・2

日	01時01分	R	11時11分	R
月	02時02分	R	12時12分	R
火	03時03分	R	13時13分	R
水	04時04分	R	14時14分	R
木	05時05分	R	15時15分	R
金	06時06分	R	16時16分	R
土	07時07分	R	17時17分	R

日 月 火 水 木 金 土 RET

c



ファンクションキー $\boxed{2}$

MODE 1
◆スタディ・タイム・スケジュール◆
10月22日〔木〕08時05分
アラーム・1 アラーム・2

日	01時01分	R	10時10分	R
月	02時02分	R	11時11分	R
火	03時03分	R	12時12分	R
水	04時04分	R	13時13分	R
木	05時05分	R	14時14分	R
金	06時06分	R	15時15分	R
土	07時07分	R	16時16分	R

にゅうりよくに、まちがいがあります。なおしてください。

RET

d



カーソルキー



リターンキー

週間スケジュール CRT画面上で、1週間分の学習スケジュール用のアラームをセットすることができます。アラーム・1、アラーム・2として1日につき2回のアラームセットが可能です。

[アラームのセット及び訂正の手順]まずファンクションキーの[4]を押します。そうすると点滅カーソルが画面上の、アラーム・1の日曜日の最初の日附のところに出来ます(e)。カーソルキー(←→↑↓)で点滅カーソルを移動させ、フルキーを使って時・分の数字を入力します。セットした時間にアラーム音を出すためには、その右側のRまでカーソルを移動し、Sに直してください。(SはアラームがSET、RはRESETの意味です)アラームのセットがすべて終了したら、画面上で間違いがないかを確認してRETURNキーを押します。これでセットが完了し、画面は最初の画面(b)に戻ります。

注)

1. ALARM-1は必ずALARM-2より前の時間にセットしてください。
2. “にゅうりよくにまちがいがあります。なおしてください。”と表示されたときは、実存しない時間の数字または文字が入っているときです。正しくなおしてください。(数字の0、8

とアルファベットのO、数字の1とアルファベットのI、Lは類似しているので特に注意してください)

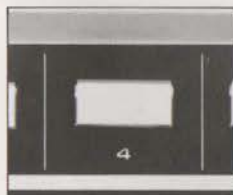
3. 今の時間より5分以上先の時間をセットしないと、アラームが起動しないことがあります。
4. アラームがセットされている時刻に、CEFUCOM-21のスイッチが入っているとき(使用しているとき)アラームは作動しません。
5. アラームスイッチについて
OFF →アラーム音は鳴らない。
1 →アラーム1にセットされている時刻にのみアラーム音が鳴る。
2 →アラーム2にセットされている時刻にのみアラーム音が鳴る。
1+2 →アラーム1・2ともアラーム音が鳴る。

MODE 1			
◆スタディ・タイム・スケジュール◆			
10月22日(木) 08時05分			
	アラーム・1	アラーム・2	
日	01時01分	R 10時10分	R
月	02時02分	R 11時11分	R
火	03時03分	R 12時12分	R
水	04時04分	R 13時13分	R
木	05時05分	R 14時14分	R
金	06時06分	R 15時15分	R
土	07時07分	R 16時16分	R

[RET]



アラームスイッチ



ファンクションキー[4]



カーソルキー

MODE 2 の操作

MODE 2

CAIがくしゅう・モード

モード・セレクション画面で、ファンクションキー^①を押して RETURN キーを押すと、図(a)のようなカルテが表示されるので 1～6 の好きな番号を選んでください。学習すると自動的にコンピューターが学習科目を読み取り、カルテに登録されますから 2 度目には学習科目があなたが選んだカルテ番号に出てきます。2 度目からは必ず自分のカルテ番号を使ってください。間違えますと他人の学習履歴に依り学習することになります。尚、流通期間が長くなると、バックアップバッテリーが足りなくなり変な文字がカルテに現われることがあります。そのときは次の d) 項の方法でクリアしてから使用してください。ファンクションキーにより 1～6 が選ばれると、選んだ番号のカルテの履歴が表われます(b)。ここではファンクションキーと RETURN で次の 4 つの事ができます。

a) 学習を始めるには：

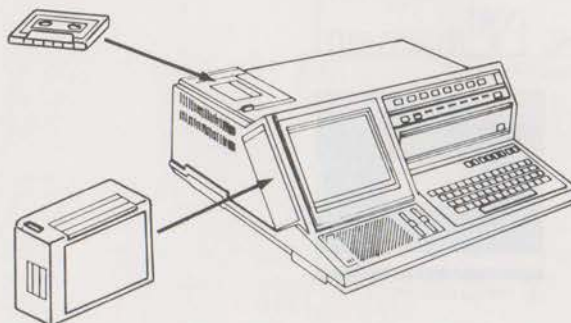
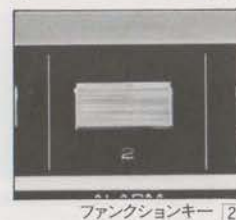
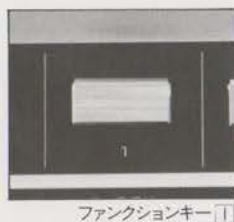
各科目ともカセットテープは LESSON 1 (1-A) を、カプセルは科目に合わせて選びセットしてから^① RETURN を押してください。2 度目からは自分のカルテ番号を選びますとカルテに科目名とカセット番号、カプセル番号が示されますので、それをセットしてください。

注) カルテを選ぶとき後で間違いのないように、次の c) 項に従って名前は必ず入れてください。入れても学習を始めない限り学習履歴がないので自動的に消えてしまいます。カプセルを充分押して、カチンという音が聞こえたらロックされたことになります。それからカバーをしっかりと押し、カバーもロックされているのを確認して始めてください。

b) 学習を進めたくないときは：

^② RETURN を押してください。画面がカルテ選定の CAI がくしゅう画面に戻ります(a)。

(カルテ NO.1 を選んだ場合)



MODE 3 の操作

MODE 3

コンピューター・モード

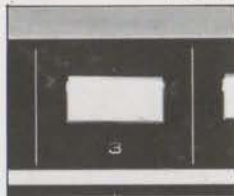
モードセレクション画面(a)でファンクションキー^③とRETURNキーを押すと、CEFUCOM-21をコンピューター(パソコン)として使用することができます。詳しくはPC-1「USING PERSONAL COMPUTERS」を学習してください。市販またはCEFUCOM-21以外の機器で作られたプログラムやゲームをC-LOADする時は、デジタル信号音が出ます。(CEFUCOM-21でCSAVEしたものをCLOADする時は信号音は出ません)

◆モード・セレクション◆
きぼうのモードばんごうか、または、やめるとき
のばんごう^⑥をキーインして、RETURNキーを
おしてください。

- 1 スタディ・タイム・スケジュール
- 2 CAI がくしゅう
- 3 コンピューター
- 4 テープレコーダー
- 5 インフォメーション

1 2 3 4 5 OFF 6 RET

a モード・セレクション画面



ファンクションキー ③



リターンキー

MODE 3 ◆コンピューター◆

CEFUCOM BASIC V. 1. 0
Screen Select [1/2] ?

コンピューターモード画面

MODE 4 の操作

MODE 4

テープレコーダー・モード

モードセレクション画面(a)でファンクションキー^④とRETURNキーを押すと、テープレコーダーとしてCEFUCOM-21を使用することができます。この場合、テープコントロールはファンクションキーを利用して行います。その際、画面(b)で以下のようにテープレコーダーの機能、操作開始時からの時間を表示することができます。ただし、PLAY/REC時のみです。タイマーをクリアする時はファンクションキー^①を押してください。

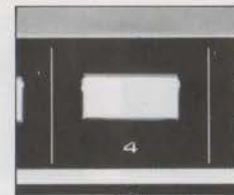
注) RECORDキー(ファンクションキー^③)を押すと自動的に録音状態になりますのでPLAYキー(ファンクションキー^④)と一緒に押す必要はありません。

◆モード・セレクション◆
きぼうのモードばんごうか、または、やめるとき
のばんごう^⑥をキーインして、RETURNキーを
おしてください。

- 1 スタディ・タイム・スケジュール
- 2 CAI がくしゅう
- 3 コンピューター
- 4 テープレコーダー
- 5 インフォメーション

1 2 3 4 5 OFF 6 RET

a モード・セレクション画面



ファンクションキー ④

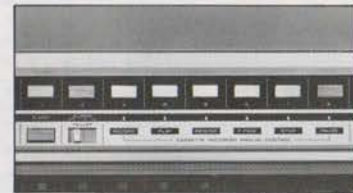
MODE 4 ◆テープレコーダー◆

10月22日[木]08時05分

PLAY

タイマー・クリア 00分00秒

b テープレコーダーモード画面



テープレコーダーコントロール表示

性能・仕様

●本体

寸法	210(H)×520(W)×485(D)
重量	10kg
消費電力	80VA
CPU	Z80×2
ROM	58Kバイト
RAM	52Kバイト
Video RAM	6Kバイト
表示ドット数	最大256×192
表示カラー	最大9色
扱える文字の種類	英文字A～Z, a～z, 数字0～9, ひらがな, カタカナ, 漢字18, 記号49
ステートメント	38
コマンド	11
組込関数	32
キーボード	65キー
配列	JIS配列
テープレコーダー機能	REC/PLAY/REW/F・F/STOP /PAUSE
出力	無歪800mW
録音レベル	ALC (自動録音調整)
録音方法	AC Bias AC Erase
トラック	2トラック, 4チャンネル

●周辺機器

○モニター(CRT)	コンポジットカラーモニター又は グリーンモニター (家庭用テレビ にRFより入力可能)
○音響カプラー	田村電機, ALTAM C300
消費電力	4VA
寸法	66(H)×100(W)×250(D)
重量	0.8kg
○プリンター	精工社GP-80P
印字速度	80文字/分
プリント方式	ドットインパクトプリンター
寸法	127(H)×328(W)×170(D)
重量	2.5kg
消費電力	15W (文字連続印字)



Hino Electronics Co., Ltd.

日野電子株式会社

本社・〒191東京都日野市日野本町1-15-17
電話 (0425) 85-1221(代)